



The Japanese School of Melbourne

メルボルン日本人学校だより

平成 27 年度
3 月 号
H28.3.1

3月

日没が日に日に早くなり、秋の気配を感じる頃となりました。今日から3月、卒業式まであとわずかとなりました。G6の4名は中学部に進学、G9の3名はメル校を巣立ち、それぞれ新しい世界への一步を踏み出します。朝や帰りの時間には、各教室から式にかけて式歌や校歌、国歌を練習する歌声が聞こえてきます。卒業式に在校生全員が参加し、一緒に卒業を祝うことができるのも小規模校ならではの良さだと感じています。

さて、各学年の教室をのぞくとこの1年間の足跡が掲示物から伺い知ることができます。各行事の写真、生活科の観察記録、各教科等での学習の記録、図工・美術での作品…。子どもたちが真剣に取り組んだ場面が一つ一つ鮮やかによみがえり、一回りも二回りも成長した姿を実感しています。

3月は、1年の締めくくりの月です。卒業や進級を前に「やったこと」「できるようになったこと」を振り返り、努力や成長を確認したいものです。お家の方でもお子さんの成長を確認し、具体的な言葉で伝えてあげてください。まわりの人から自分の成長を認めてもらった子どもの心の中は、喜びと充実感に包まれ、たくましく成長していきます。

校長 上野祐美子



夏祭り



2/28(日)、メルボルンの中心地に位置するフェデレーションスクエアで開催された日本人会・商工会議所主催の「メルボルン夏祭り」に出演しました。法被をまとった子どもたちの姿は集合場所から多くの注目を集め、ステージ上がった瞬間に大きな歓声があがりました。小学部「よさこいエイサー」の威勢のよいかげ声と笑顔、中学部「南中ソーラン」のキレのある勇壮な踊りに、大勢の観客から拍手喝采。「子ども達がみんな笑顔で生き生きと踊っている姿が、とても印象的で元気をもらいました。」という感想もいただきました。少ない練習時間でしたが運動会で踊った勘をすぐに取り戻して本番に臨んだ子ども達。下級生を引っ張った上級生、見よう見まねでしっかりダンスに参加していたプレブレップや転入生。堂々と英語でスピーチした G5 と G8。一人ひとりの姿に感動したステージでした。保護者の皆様、送迎のご協力、そして、声援をありがとうございました！

小学部の「卒業生を送る会」では、プレブから G5 の子どもたちが、歌や言葉、クイズや劇など趣向を凝らした出し物でこれまでお世話になった G6 へ感謝の気持ちを伝えました。G6 から各学年へのあたたかいメッセージがありました。年度当初に比べ一段と成長した G6。中学部への旅立ちの日がそこまで来ていることを感じました。また、中休みや昼休みを返上して準備をし、当日の進行も担当した実行委員、とりわけ中心になって進めていた G5 の様子を見てみると、もう小学部最高学年を引き継ぐ準備は十分できていると嬉しく思いました。どの学年も成長を感じることができ、とても温かい雰囲気にも包まれた「卒業生を送る会」でした。

卒業生を送る会



オートロックシステム、グラウンド人工芝敷設について

校門オートロックシステムを2/25より開始しました。先日手紙でお知らせしたように、原則子どもが学校にいる時間帯はオートロックになっていますので暗証番号を入力して入校ください。慣れるまでは不便に感じると思いますが、ご協力よろしくお願いいたします。

また、グラウンドの人工芝敷設工事を3/15~4/1で実施する予定です。詳細については別途お知らせします。

受賞おめでとう!!



G1の児童が、小学館主催の「自然はともだちコンテスト」で「ドラえもん感動賞」、福井県大野市主催の「越前大野感性はがき展」で「特別賞」を受賞しました。おめでとう!(作品は主催者HPに掲載されています。)